

技・家だより

令和6年度 第2号 通巻186号
発行
愛媛県教育研究協議会技術・家庭委員会

『学習指導の一層の充実に向けて』

愛媛県教育委員会義務教育課 指導主事 勝木 規夫

1 はじめに

私たちの社会は、Society5.0の実現、生成AIをはじめとするデジタル技術の発展、少子高齢化、環境問題の深刻化といった急速な変化の中にあります。こうした変化は新たな可能性を生み出し、未来を創造する機会にもつながります。これからの時代を担う生徒たちには、多様な変化を前向きに受け止め、柔軟な思考力や問題解決力を備え、あらゆる技術を活用して新しい価値を生み出す力が求められます。

学習指導要領の実施から4年が過ぎようとしている今、先生方におかれては、中学校3年間を通じた学びや、育成すべき資質・能力の全体像を捉え、生徒の主体的な学びを促進するため、よりよい授業の実践に取り組まれていることと思います。

本年度の実践を踏まえ、指導計画や指導体制の在り方について、文部科学省 渡邊 茂一 調査官の話を中心にまとめました。

2 3年間の指導計画策定上の留意点

効果的な技術教育を実現するためには、3年間を見通した指導計画の策定が不可欠です。具体的には、次の3点が鍵となります。

(1) 教育課程の適正な実施

各学校で3年間を見通して設定した目標やカリキュラムが実際の授業に反映されるよう、定期的な評価と見直しを行う必要があります。例えば、学年ごとの内容が、前年度の学びを踏まえて体系的に積み上がるような工夫が必要です。

(2) 授業時数の適正な配分

技術分野では、内容ごとに必要な時間配分が異なります。各学年での授業時数をバランスよく設定することにより、生徒が段階的に技能や知識を深めていくことが可能となります。

(3) 地域の特徴を生かした題材の設定

各市町の産業や地域資源を活用した教材や題材を取り入れることで、理論だけではなく実践的な学びが促進されます。例えば、地元企業との連携や地域の実例を題材にすることで、授業に現実性が生まれ、子供たちの学習意欲が高まると考えられます。実際、地域の防災をテーマにした「リサイクル材料を使ったものづくりプロジェクト」といった、社会とつながる学習が展開され、生徒の創造性や探究心を引き出す活動が増加しています。こうした実践を更に広げ、生徒一人一人が技術・家庭科の学びに主体的に取り組めるよう、指導の工夫や授業改善に努めることが重要です。

3 指導体制の充実を図る上での留意点

指導体制の充実には、教員間での情報交換も欠かせません。実際に授業を担当する教員が、成功事例や苦労話、工夫した内容を共有することで、より実践的な改善策が見えてきます。また、研修の場を整備することで、孤立しがちな技術科教員同士がつながり、共に成長する環境が作られます。

こうした情報交換の場は、単なる知識の伝達に留まらず、各校や各市町の実情に即した地域資源を活用した教材等を生み出す原動力となっています。今後は、都道府県をまたぐ広域的なネットワークの整備にも期待が寄せられています。文部科学省のウェブサイト等を通じ、全国の技術科教員が情報を共有する仕組みが整えられています。このようなコンテンツを活用することで、教材の選定や日々の指導に広がりや深まりが生まれ、充実した教材研究、授業改善につながることを期待されます。



4 おわりに

昨年12月に中教審へ諮問された「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」では、持続可能な社会の創り手の育成や情報活用能力の育成について言及されています。私たちが取り組んできた技術・家庭科教育は、単なる知識の習得にとどまらず、社会の変化を前向きにとらえ、課題を解決する力を育むものです。さらに、デジタル化が加速度的に進展する中、高校の情報科と連携しながら、「情報の技術」に関する基礎的な理解や技能を育成することが求められています。

私たちは、生徒たちが将来、技術を駆使して様々な社会課題に挑戦できるよう、今後も、県内の技術・家庭科に携わる教員同士が連携し、指導体制の強化と充実を目指していく必要があります。これまで積み重ねてきた授業実践を基に、更なる発展を目指し、生徒たちが技術・家庭科を学ぶことを楽しみ、将来につながることを実感できる指導や環境を整えていきましょう。先生方の情熱と創意工夫が、これからの技術・家庭科教育を大きく変えていく力になります。来年度も、新たなアイデアを持ち寄り、ともに学び合いながら、よりよい授業を実践していきましょう。

各管区の一年間の取組

技 術 分 野

【 中 予 管 区 】

「夏季実技研修について」

東温市立重信中学校 渡邊 尚彦

中予管区では夏季実技研修において「材料と加工の技術」分野における授業提案及び教材紹介を外部から講師を3名招いて行いました。「caDIY3D」と呼ばれる3DCADソフトウェアを用いて設計・製図を行い、木材加工教育のために開発された「合板DL教材」を使い「ミニ本立て」を製作しました。

「caDIY3D」を操作してみても感じたことは積木感覚で操作ができ、設計・製図が苦手な生徒でも直感的に行えるのではないかと思います。何より、図形を完成すると自動で材料取り図を表示する機能が備わっており、優れたソフトウェアだと思いました。諸条件がクリアできれば是非に導入してもらいたいソフトウェアだと思います。

合板を使った製作では治具がとても工夫されており、切り代をとる必要なく、苦手な生徒でも線の通り真っ直ぐに切断できる工夫がされていました。釘を一切使用せずに接着剤だけで組み立てられるのでとても手軽に製作できました。

「材料と加工の技術」分野での従来とは少し異なる新しい実践を知ることができとても有意義な研修になりました。



【 東 予 西 管 区 】

「夏季実技研修会に参加して」

西条市立西条南中学校 飯尾 謙一

今年度の夏季実技研修会は、令和8年度中四国大会B提案発表の準備のため、生物育成に関する研修を企画した。講師には、愛媛県立丹原高等学校の大川正和教頭先生をはじめ、生徒のみなさんにもお手伝いを引き受けていただき開催することができました。

研修会では、土地や場所を選ばず栽培できる作物や、地域の環境に適している作物についての情報を提供していただき、中学校での学習内容にも触れながら、高等学校での学習について資料をもとに講義していただきました。ビニールハウスや露地野菜など、夏野菜を中心に多くの種類の野菜を収穫し、トマトとブルーベリージャムをつくることができ、貴重な体験ができました。

今後とも管内の教員が情報を共有し、協力しながら研究を深めていきたいと思っております。

今後とも管内の教員が情報を共有し、協力しながら研究を深めていきたいと思っております。



【 東 予 東 管 区 】

「夏季実技研修会について」

新居浜市立川東中学校 原 裕也

東予東管区では、8月20日にソニーマーケティング株式会社の萩原丈博さんを講師に招き、新居浜市の共通教材であるプログラミング教材「MESH」の研修会を行いました。萩原さんが先生役、教員が生徒役となり、実際の授業のような展開で研修会を進めました。前半は、初めて操作する先生もいたので、MESHの基本的な操作方法を学びました。後半は、前半の学

びを踏まえて、二人一組となり、自分の身の回りの生活をよりよくするためにMESHで実現できることを考えました。部屋を模造したミニチュア模型にMESHを組み合わせて、プログラミングを考えました。完成後は、お互いに作ったものの発表し合い、アイデアを共有しました。どのペアも、面白いアイデアを考えることができていました。



【 南 予 管 区 】

「技術・家庭科夏季実技研修会を終えて」

宇和島市立城南中学校 山宮 斎

7月30日に国立大洲青少年交流の家で技術・家庭科夏季実技研修会を実施しました。

研修では山崎教育システム株式会社様から講師を迎え、内容B生物育成の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動についての研修を受けることができました。生物育成の研修を受ける機会は少なく、日々の実践で悩むことも多くありますが、この場で講師への質問や他校との意見交換を行うことで有意義な研修になりました。

中四国大会にて提案発表される木嶋隆之先生（御荘中）の発表を聞き、発表スライドの見直しや発表内容の確認を行うことができました。先生方の様々な意見を聞くことで、自分自身の実践を振り返る機会となり、今後に生かすことができるものとなりました。

南予管区には、免許外で技術を担当している先生が多くおられます。技術の楽しさを知っていただくとともに、日々の実践への負担軽減のためにも、多くの方が参加できる内容の厳選や呼び掛けを行いたいと思います。そして、さらに充実した実技研修会を目指したいです。

家 庭 分 野

【 中 予 管 区 】

「夏季実技研修会での取組について」

伊予市立港南中学校 兵頭 しづか

今年も昨年度同様、河原調理専門学校から講師を招いて、アジを用いた調理実習を行いました。

だしの種類や特徴について学んだ後、様々なだしの飲み比べをしました。特に大豆だしを初めて口にした教員が多く、手作りのだしの奥深さを知ることができ、天然だしの良さを再確認する時間になりました。その後、プロの実演を見ながら、さばき方のポイントを教わり、それを生かして作った郷土料理の「日向飯」「さんが焼き」はより一層おいしく感じられました。

「本物の味（ゴール）を知っておくことで、普段の調理が変わる」という講師の先生の言葉も大変印象深く、生徒に還元できることの多い有意義な時間となりました。

企画から当日の運営まで多くの先生方にフォローしていただき、家庭科教員のつながりの深さを感じるとともに、感謝の気持ちで締めくくる1年となりました。

【 東 予 西 管 区 】

「1年間を振り返って」

今治市立北郷中学校 正岡 佳奈代

管区改編2年目となり、今年度も有意義に活動を行うことができました。夏季実技研修会の午前は、愛媛県総合教育センターの田頭先生を招き、「確かな学びを創る授業づくり」と題し、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善についてご講話いただきました。午後は、愛媛



県立愛媛中央産業技術専門校の角尾先生を講師に招き、「作って楽しい布作品」としてサコッシュなどの製作を行いました。製作途中で、ブレーカーが落ちて作業ができなくなるハプニングがありましたが、参加者の皆さんの中には、「持ち帰って製作しよう。夏休みの宿題が出た気分になった。」と前向きに言ってくださった方もおられ、有り難い限りでした。免許外の先生も参加してくださり、これからの東予西地区を頼もしく感じる1日となりました。今後は、管区が広域であるため、コミュニケーションアプリを活用して情報交換を行いながら、活動を充実させていこうと思います。

【 東 予 東 管 区 】

「一年間を振り返って」

新居浜市立川東中学校 河村 かおり

今年度の夏季実技研修会は、午前中にもものづくり、午後は施設見学を行いました。ものづくりでは、伝統工芸品の「一閑張」の作品を制作しました。最近は、一閑張の作品自体なかなか目にする機会も少なくな



っていますが、えひめ一閑張倶楽部の森様が和紙との出会いやご自身の経験なども交えながら、要所を押さえた的確な指導をしてくださり、個性あふれる作品を全員が完成させることができました。

午後からは、TOTOのショールームに見学に行きました。家事を助け、生活を豊かにするためのトイレ、浴室、台所の様々な工夫を知ることができました。丁寧な説明と具体的な例示等でわかりやすく、授業で生かすことができる内容もたくさん教えていただきました。

【 南 予 管 区 】

「夏季実技研修会を実施して」

大洲市立長浜中学校 山本 昭江

7月31日、夏季実技研修会を大洲市立大洲北中学校において実施しました。午前中は、一般社団法人日本クレジット協会から古谷一紀様を講師にお招きし、「キャッシュレス決済とクレジットカードについて」と題した消費者教育の研修を行いました。生活スタイル同様、金銭の管理の仕方も多様化し、生徒の実生活の中にキャッシュレス決済が入ってきている現在、教える側として最新の情報を持っておく必要性やキャッシュレスのメリット、注意点、指導時のポイントなどを丁寧に分かりやすく御指導いただき、即生かせる研修となりました。午後からは、作品審査や今後の研修の持ち方等について情報交換を行いました。



南予管区は広範囲で普段なかなか集うことができないため、この研修会は貴重な機会となっています。今後も、家庭分野担当教員の横のつながりを大切にし、充実させていきたいと思っております。御協力ありがとうございました。

第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア 創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会

令和7年2月1日(土)に都立六郷工科高等学校で「第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア 創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会」が行われました。

そこで、基礎部門に八幡浜市立保内中学校のチーム「ジャッカル」が出場しました。また、応用部門では、伊予市立港南中学校のチーム「1チームRR」が出場しました。

両チーム、レベルの高い予選リーグを勝ち抜き、見事に決勝トーナメントに進むことができました。

決勝トーナメントでも順調に勝ち進み、以下の結果となりました。

○基礎部門	「ジャッカル」	準優勝
○応用部門	「1チームRR」	優勝

素晴らしい結果に、愛媛の技術・家庭の教員として心の底から嬉しく思います。

両チーム、また、ご指導してくださった先生方、本当におめでとうございました。愛媛のロボコンがより一層盛り上がることを期待しています。



お 知 ら せ

広報局より

日頃より「技・家だより」を見ていただいているすべての方々に感謝申し上げます。

この度、ご多用の中、愛媛県教育委員会義務教育課指導主事 勝木 規夫様をはじめ、各管区長の先生方に原稿をご執筆いただき、「技・家だより」を発行することができました。

ご協力いただいた先生方、誠にありがとうございました。

広報局では、愛媛県技術・家庭科委員会Webページを運営しています。<http://ehime-gika.com/hp/>

こちらに、「技・家だより」や愛媛県の技術・家庭科に関わる情報、先生方の取組等を掲載しています。

今後も、愛媛県の技術・家庭科の先生方のご活躍を発信していきます。

